


日中友好協会  
**おかやま**  
 語字英原田 親  
 No. 585  
 2009/10/5

**日中友好新聞**

発行所  
 日本中国友好協会  
 〒110-0055 東京都千代田区千代田1-1-1 第2号ビル3階  
 日中友好協会  
 岡山支部  
 〒700-8256 岡山県岡山市東区3-8-30 511  
 TEL:0861272-3010 郵便番号1110  
 01250-0-3335  
 日中友好協会  
 倉敷支部  
 〒713-8014 倉敷市連島中央1-8-1 (宮地方)  
 TEL:FA0860446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ  
<http://rizhong.web.infoseek.co.jp>  
 メールアドレス  
 rizhong86@hotmail.co.jp



## 「柳条湖事件発生78周年」

### 街頭宣伝

#### 日本と中国、世界の平和友好のために

日中友好協会岡山支部は、9月18日に表町商店街で、柳条湖事件発生78周年を記念して宣伝、ビラ配りを1時間しました。4人の参加で、200枚のビラを配りました。

憲法9条は堅持、再び戦争がおきないように、と訴えました。商店街を歩く人達が次々とビラを受け取り、訴えに耳を傾けていました。

1931年、中国東北部で日本軍による爆破事件をきっかけにして、15年戦争になった。

稲葉泰子



## 日本語教室

### 第18回講師団会議

#### 高島教室からも初参加

第18回日本語教室、講師団会議が、9月9日、長岡教室にて、開かれました。

長岡教室から6名(水曜日と木曜日)さいでん教室から1名(月曜日)そして、7月から新しく始まった高島教室より5名(火曜日)そして、小林事務局長が参加し、各教室の、7月、8月、9月の出欠等の状況をもとに、各講師から一言ずつ報告しました。



又、この秋予定されている交流会や、カレンダー販売などについて、協議されました。

講師の方からは、岡山の民話を教材としてやっているが、とても、おもしろい。」

「これからの学習方法も、今までと同じでいいのか、どうか。」

又、高島教室からは「もっと日本語教室を知ってもらおう為に、チラシを作ってPRしていきたい。」など、熱い意見が出されました。

そして、この秋予定されている、9月の「帰国者交流会」10月の「水餃子で日中交流会」兵庫帰国者との交流会「11月の日本語教室開講5周年行事」

## 第6回地域人権問題全国研究集会

### 岡山県実行委員会結成総会開かる

#### 実行委員長に小畑さん(岡大教授)を選出

2009年9月17日午後、岡山市勤労福祉センターで標記の会が開かれました。

会には中国帰国者の日本語教室・岡山県連絡協議会をはじめ、実行委員会に加盟する(予定も含む)団体の代表者等26名が参加しました。

会議では岡山での開催(2010年5月29日(土)〜30日(日))成功に向けて次のようなことが話し合われました。

- 1) 実行委員会に参加する団体を今後も呼びかける。
- 2) 会場は岡山市民会館を会場に、岡山市内に分科会場を設ける。
- 3) 主テーマを「憲法を暮らしに活かし、地域社会の人権



左から中島さん、吉岡さん、小畑さん、管木さん



さいでん教室の中国料理交流会」等についても協議され、1時間半の予定時間では、足りない程の、とても濃密な会議でした。

貝吹佳代子

## 短信

### 瀬尾さん岡山へ

山陽新聞の瀬尾由紀子記者がこの10月1日付で岡山に帰って来られることになりました。

瀬尾記者には、中国「残留孤児」訴訟では大変お世話になりました。

このたび、副部長に昇進して今後は政治経済を中心に扱う「おかやま財界」に記事を書いていかれるそうです。

### これからの予定

10月3日(土曜日)

13時30分〜15時30分

さんかく岡山 会議室

日中文化講座・講演会

佐藤をとみの恋愛

―郭沫若のロマン主義文学―

講演:姜波さん

参加費無料

10月31日(土)午後2時〜

おひとりさまの「老後」を読む

老後の社会保障を考えるための学習会

場所:岡西公民館

講師:米田信敏さん

(協立病院医療ソーシャルワーカー)

会費:資料代として100円

主催:日中岡山9条の会

井上進夫

## 第80回日中文化講座

「いまの中国をどう見るかー映画・漫画を通してー」

石子順氏 講演 ④

第80回文化講座(09・5・16)での石子順さんのお話を掲載しています。

戦争が終った時満州映画協会は、東北映画撮影所というのに変わったんです。何と、これを接収したのが延安にいた毛沢東の八路軍の文化関係者が、日本が負けそうだということがわかって、延安というのは本当に奥地の奥地ですが、その延安から国民党の支配区、そして日本軍の支配区を抜けながら、長春までたどり着いた秘密工作員が、戦争が終った時にこの満州映画協

会を接収するんです。もちろん国民党側の工作員もいましたから、内部闘争が激しくて、結局、長春(新京)は翌年1946年に、一時期八路軍(共産党)の支配下になった。一カ月だけだったんですけど。それから南から国民党軍が攻めてきたとき、満州映画協会の設備をほとんど北に持つていった。八路軍の軍隊が撤退する時に、半分以上の日本人の技術者が家族と一

緒に協力するというところで、軍隊と一緒に、機材と一緒に貨物列車で、ハルビンからさらに北のほうまで撤退して、そこで映画制作を始める。1949年の建国の時に、劇映画が2本も3本も作られていたというのには、そういういきさつがあるんです。カメラとか編集とか照明とか録音とか、全部日本人スタッフややって、監督は中国人で、出演するのは中国人の俳優です。つまり日本人スタッフの力によって、すぐに秀作が生まれたんです。新中国映画は、この基礎を支えたのは日本人技術者だったということです。

つづく

## 北京へ(6)

坪井あき子

アルバム様の冊子は私にも渡された。しかし「この人は中国の物価を知っているし少々中国語も話すようだし」と見破られていた私の冊子には3枚ほど貼ってあり、値段の紙は貼ってなかった。真、对不起」と返却する私に当然という顔で受け取っていた。私の写真をはがして、また別のツアーの人の写真を貼って売るので。

日本での募集の予定になかったものが、中国でオプションとして入ってきた。夕方から夜の

9時まで。雑技団」と「京劇」である。これで2日間の夜の時間はつぶれてしまうから、王府井が目の前にあっても自由な買い物はできない。オプションはそれぞれ3800円である。これもほとんどの人が参加した。

つづく



いつも人、人、人でいっぱいの万里の長城

### 小林軍治の

### フランス滞在記 2

### はじめてのビジネスクラス

機に搭乗すべく待合所にいた時に、放送で小林アイユさん・ガンジ(ガンジのましがい)さんと呼ばれ、何かと声のする方に行った、するとエコノミークラスが満席のため、ビジネスクラスに乗るように指示された、しかも追加料金なし。なぜ私達か理由は不明だが、ラッキーでした。

はじめてのビジネスクラスは、ゆつたりと座れ、足を伸ばすことができ、男女の客室乗務員も親切に対応してくれ、パリのドゴール空港までの十二時間を長く感じさせず快適に過ごした。

ドゴール空港では、リヨン空港までの案内人契約を結んでいた会社(アシスタンスサービス、約1万円)の若い日本人女性、出口で「KOBAYASHI

「IAIKO」と書いたプラカードを持って出迎えてくれ、リヨンの飛行機に乗るまでの案内と手続きをしてもらい助かった。

リヨンまでは、小型機でゆれがはげしく、少し不安であったが、眼下に広がるフランスの農村風景を楽しみながら無事たどり着いた。空港には、婿のミカエル君が車で迎えに来てくれ、左ハンドル右側通行で家に向かい、午後8時50分に到着した。

次回の新聞送付作業は10月13日(火)午後1時半、民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

吹林田和 内井垣 貝小真 竹竹坪三



## 2009大芦高原1泊練習会①

9月12日 土曜日、大好きな太極拳を楽しく練習して、温泉で心も身体もほぐして交流しようと、硬いイメージの「合宿」ではなく「1泊練習会」を大芦高原で始めて3年目です。

今回は、関西、高知、健身太極拳の皆さんにも参加していただき31名の練習会となり、久しぶりに大阪西支部の恒岡指導員と尾中指導員をお招きし、「太極拳の出来る身体作り」をテーマに取り組みました。帯やタオル、棒やボール、様々な道具を使った楽しい練習が繰り広げられ、太極拳は武術ということで、「懐中抱月」と名付けられた受身も練習し、あつという間に時間が過ぎてしまいました。

途中のちょっと長めの休憩時間には、各地のお土産のお菓子や岡山特産の果物を食べて、おしゃべりにも花が咲きました。

温泉に浸かったあとのビールは最高で、懇親会では、水彩画、刺し子、米粒に文字を書いた作品、名物の耳かき、謎の竹筒、等等、持ち寄ったプレゼントのくじ引きをし、オカリナ、ハーモニカ、小鳥笛で盛り上げました。もちろん2次会は、各地の名酒と太極拳談義で更けていきました。

つづく  
青木 正

七月三〇日、関西空港で11時50分発のエル・フランス